

令和7年度 石岡市立八郷中学校グランドデザイン

石 岡 市 基 本 目 標

ふるさとに学び 夢にはばたく 輝く人づくりのまち

茨城県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

目指す学校像

- 子供が共に磨き合い、共に学び合える学校
- 笑顔とあいさつが行き交う学校
- 保護者や地域に信頼される学校

目指す児童生徒像（八郷中学校区）

自他の尊重

- 多様な価値を認め自分らしく輝く子
・積極的に他者にかかわり、多様性に気付くとともに人間関係を深める。

自律

- 主体的に学習に取り組む最後まで粘り強く挑戦し続ける子
・自己決定したことについて試行錯誤しながら粘り強く挑戦して取り組む。

協働

- 協働的に学びながら課題を発見、設定、解決、発信しようとする子
・自ら課題を発見し課題の解決に取り組む、まとめ、表現し、新たな課題を見付け、探究的に学ぶ

石岡市の重点

- 自律 ○協働 ○自他の尊重
※多様性の尊重

教育理念

- すべての子供の可能性を引き出し一人一人が豊かな人生を切り拓いていく力の育成

目指す教師像

- 多様性を理解し寄り添った関係を築ける教師
- 授業改善を積み重ね専門性を高められる教師
- 協働し目標実現を図れる教師

八郷中 学校教育目標：夢や希望をもち 自らを高め 未来を切り拓く生徒の育成

組織目標

- 主体的・協働的な活動をととして、分かる授業づくりに努め、確かな学力の向上を図る。
- 互いに認め合い高め合うことをととして、よりよい人間関係を育む。
(生徒指導の4視点を生かした教育活動の充実)

主体的・協働的な学びの充実

(教師が教える授業から生徒が学ぶ授業へ)

- 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の推進
・「主体性を促す課題設定の工夫」「協働性を高める学習指導法の工夫」「振り返りの視点の明確化」に重点を置いた授業改善の強化
- 確かな学力の定着を図る学習指導の充実
・基礎的・基本的な知識・技能の習得（基礎・基本の定着に課題を抱える層や特別な配慮を要する児童への支援の充実）
- 自分の意見や考えを伝え合う学習活動の充実（言語活動の充実）
- 生成AIやICT教育機器・デジタル教材の効果的な活用
- 習熟度別学習・補充学習の充実
- 特別支援教育の充実
・「個別の指導計画・教育支援計画」に基づいた支援の充実
・校内支援体制の強化（適切な学びの場の検討）
- 家庭や地域、外部との連携
・タブレット端末を活用した家庭学習の充実
・地域人材や外部講師等の積極的な活用
- 情報活用能力の強化
・CanvaやPadlet、生成AI等の活用によるプレゼンカの向上

自己実現を促す支援の充実

(管理する教師から生徒の自律を支援する教師へ)

- 「協働」をととして、よさを認め合い自己肯定感が得られる学級及び学校づくり
・共感的人間関係づくりを重視した学級経営
- 生徒に寄り添い、生徒に向き合う時間の確保
・教育相談体制の強化→安心・安全風土の醸成
- 人権教育の推進
・本校の特色（八郷中学校区8小学校）である多様性（異なった経験や考え方を強みとする）を生かした教育活動の推進
- 感動を味わえる学校行事の創造
・「挑戦」「絆づくり」「感動体験」「多様性の尊重」を核とした自治的活動の推進→自己決定の場の提供
- 配慮を要する生徒への組織的な関わり
・ケース会議等による組織的なアプローチの検討
- キャリア教育の充実
・社会的、職業的自立に向けた学びの機会の確保
- 郷土に対する愛情や理解を深める教育の充実
・地域人材や地域資源の有効活用による「ふるさと学習」の推進

一人一人のよさを引き出し、生かし、伸ばす教育の充実

(すべての生徒の可能性を引き出す教育)

- 生徒指導の4視点を生かした教育活動の充実
・「生徒指導の4視点を生かした教育活動の充実を図るチェックリスト」の活用による全職員の間で実践の強化
- 生徒個々の主体的参画意識を高めるための生徒会活動の推進
- 学校評価アンケート結果に基づく教職員個々の振り返りの強化
- 地域展開の強化による部活動の活性化
- 道徳科を要とした学校の教育活動全体を通しての心の教育の充実
・「考え、議論する」道徳の時間の工夫
・「いじめ」撲滅を目指した生徒主体の自治的活動の推進

『信頼されるある学校づくりの推進』

- ・コミュニティ・スクールの推進
(熟議をととした特色ある学校づくり)
- ・地域との連携・協働体制の構築
(学校支援応援団の活動促進)
- ・積極的な情報発信による意識啓発
- ・行政との連携強化（教育支援センター活用）
- ・アカウンタビリティの向上
(保護者との信頼関係の強化)

『働き方改革の推進』

- ・校務DXによる校務の効率化
(生徒と向き合う時間の確保・研修時間の確保)
- ・職員個々の目線による働き方改革の推進
- ・風通しのよい職場づくり
(コミュニケーション促進・声かけ励行・校務の適正化・組織対応の推進・協働体制構築・中堅リーダー育成)
- ・部活動指導員の活用、地域展開の推進